



トレーニングと認定

AWS 認定ジャーニーのプランニング

どの AWS 認定から取得すべきか

IT およびクラウドの初心者

IT 以外のバックグラウンドからクラウドへキャリアチェンジする

最初の認定: AWS Certified Cloud Practitioner を取得して AWS クラウドの基礎知識を実証し、その後、AWS Certified AI Practitioner を取得して AI に関する知識をアピールしましょう。

成果: 競争力が高まります。需要の高いクラウドや AI に関する役割に採用されやすくなるほか、他の AWS 認定に挑戦するための基礎を構築できます。

基幹業務担当者

営業、マーケティング、その他の職務に就いている

最初の認定: AWS Certified Cloud Practitioner を取得して AWS クラウドの基礎知識を実証し、その後、AWS Certified AI Practitioner を取得して AI に関する知識をアピールしましょう。

成果: 需要の高い AI とクラウドの知識を習得することで競争力が上がり、キャリアアップや収入アップに有利になります。

IT 従事者

1~3 年間の IT またはシステムのバックグラウンドがある

最初の認定: 役職に応じた Associate レベルの AWS 認定を取得しましょう。AI の概念に関する知識を実証するには、AWS Certified AI Practitioner の取得をお勧めします。

成果: AI と機械学習のプロジェクトに自信を持って貢献できるようになり、信頼も得やすくなります。キャリアアップや収入アップを促進できるほか、上級の AWS 認定に挑戦するための基礎を構築できます。

AWS 認定パス

クラウド関連の仕事の主な役割、役割が担う責任、各役割に応じた AWS 認定のパスを以下に示します。キャリアの目標の達成に向けて、興味のある職種を選択して AWS 認定ジャーニーを始める、または続けてください。注意: 必ずしも以下のパスに従う必要はありません。これらはあくまでも推奨パスにすぎません。AWS Certified Cloud Practitioner は、IT またはシステムのバックグラウンドを持つ受験者にとってはオプションのステップです。AWS Certified AI Practitioner は、AI の活用を検討している IT 従事者やその他の役割の方にお勧めです。

役割と責任 AWS 認定パス

アーキテクト

ソリューションアーキテクト

クラウドインフラストラクチャとアセットを設計、開発、管理し、DevOps でアプリケーションをクラウドに移行します。



アプリケーションアーキテクト

ユーザーインターフェイス、ミドルウェア、インフラストラクチャなど、アプリケーションアーキテクトの重要な側面を設計し、エンタープライズ全体でスケラブルで信頼性が高く、管理しやすいシステムを確保します。



データ分析

クラウドデータエンジニア

構造化/半構造化データの収集と処理を自動化し、データパイプラインのパフォーマンスをモニタリングします。



開発

ソフトウェア開発エンジニア

プラットフォームやデバイス全体でソフトウェアの開発、構築、保守を行います。



オペレーション

システム管理者

コンピュータのコンポーネントとソフトウェアのインストール、アップグレード、保守を行い、オートメーションプロセスを統合します。



クラウドエンジニア

組織のネットワークコンピューティングインフラストラクチャを実装および運用し、セキュリティシステムを実装してデータの安全性を維持します。



DevOps

テストエンジニア

設計からリリースまで、製品のライフサイクル全体にわたって、ソフトウェア開発に関するテストと品質のベストプラクティスを組み込みます。



クラウド DevOps エンジニア

エンドツーエンドの自動 CI/CD DevOps パイプラインを提唱して、大規模なグローバルハイブリッドクラウドコンピューティング環境の設計、デプロイ、運用を行います。



DevSecOps エンジニア

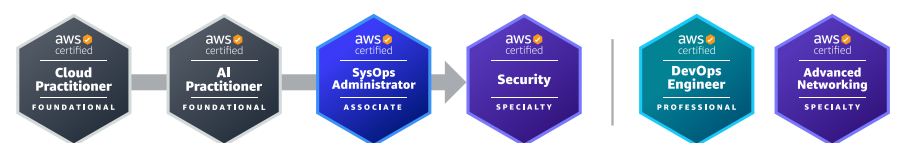
CI/CD の原則、手法、テクノロジーを使用して機能を迅速かつ安定的に提供しながら、エンタープライズクラウド導入を加速させます。



セキュリティ

クラウドセキュリティエンジニア

コンピュータセキュリティアーキテクトを設計し、詳細なサイバーセキュリティの設計を進めます。情報を保護するセキュリティ対策の開発、実行、パフォーマンスの追跡を行います。



クラウドセキュリティアーキテクト

ガバナンスを適用したエンタープライズクラウドソリューションの設計と実装を行い、ビジネスリスクと技術リスクを特定および伝達し、最小限に抑えます。



ネットワーク

ネットワークエンジニア

ローカルエリアネットワーク (LAN)、ワイドエリアネットワーク (WAN)、イントラネット、エクストラネットなどのコンピュータおよび情報ネットワークの設計と実装を行います。



AI/機械学習

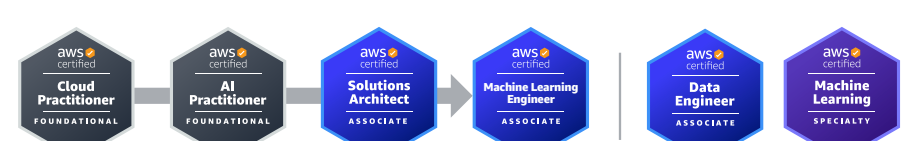
プロンプトエンジニア

テキストプロンプトを設計、テスト、改良して、AI 言語モデルのパフォーマンスを最適化します。



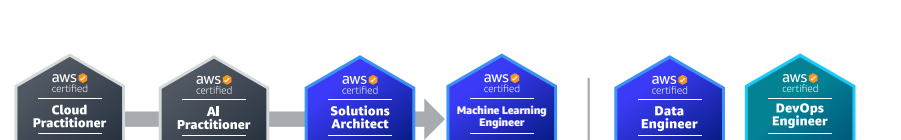
機械学習エンジニア

予測モデルを自動化するための人工知能 (AI) システムの研究、構築、設計を行い、機械学習のシステムやモデル、スキームを設計します。



機械学習 Ops エンジニア

AI と機械学習のプラットフォームとインフラストラクチャを構築し、維持します。AI/ML のモデルアクティビティとデプロイメントの自動化を設計、実装し、運用面のサポートを担います。

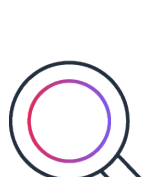


データサイエンティスト

ビジネス上の問題を解決するための AI/ML モデルを開発し、実装します。モデルのトレーニングとパフォーマンスを評価し、そのパフォーマンスを評価します。



始める準備はできましたか? キャリア目標に応じて試験を選択し、以下のステップに従って試験対策を行い、自信を持って試験当日を迎えましょう。



ステップ 1

試験形式の問題で試験内容を把握する。



ステップ 2

AWS Skill Builder で AWS の知識とスキルをアップデートする。



ステップ 3

AWS Skill Builder で、試験に向けて復習し、練習問題に取り組む。



ステップ 4

試験の準備状況を評価する。自信を持って試験当日に臨みましょう。

AWS 認定資格保有者の声:



「認定によって信頼性が高まり、学ぶ姿勢だけでなく実際のプロジェクトにおけるベストプラクティスへのコミットメントを証明できます。AWS Certified Solutions Architect - Professional と AWS Certified DevOps Engineer - Professional の認定取得は、時間と努力に対して価値の比率が最も高く、評判を最大限に高めることができました」
フリーランスのクラウドソフトウェアコンサルタント、Igor Soroka 氏



「AWS エコシステム、既存のサービス、各サービスに適したユースケースについて、理解を深めることができました。AWS Certified Solutions Architect - Associate から始め、現在では 10 個の AWS 認定を取得しています。学習したことで、クラウドでできることについての見方が大きく変わり、仕事のやり方や物事を早く終わらせる方法も変化しました」
データサイエンス担当シニアリーダー、Rola Dali 氏